

令和5年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園 西光こども園

1. 本園の教育・保育目標

理念 ・生かされているいのちにめざめともに育ちあう
・豊かな宗教的情操教育の中で、心身の調和的な発達を図り、一人ひとりの幼児が幸せな生活のできるいしずえを築く

目標 生命を大切にする子どもを育てる
・まことに生きる（自立性）
・思いやりのある子（協調性）
・話を良く聞く子（自律性）
・仲良くする子（社会性）

2. 評価項目

- ① 皆で考え話し合いながら共通理解をして確認をし、次に進むようにしていく。子ども達も遊びを通して自ら考え伝え行動する機会を増やす。
- ② 地域の方や一人暮らしの方等が子供たちと関わるによりお互いに笑顔が増えて生きる力が湧いてくるような関わりを考えて実践する。生命の大切さをしっかり伝える。
- ③ HP やインスタグラムの充実
- ④ 子ども達の状況を家庭、関係機関と連携をとり記録、その都度報告をして共通理解する。
- ⑤ パソコンや保育材料の使い方、物を大切にする事等も含め保育環境の見直しをし、整える。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）

- ① わかっているものとして流してしまうところがあり、当日になって動きがわかっていなくて他の人に頼ってしまうところがあった。何をしたらいいのか、自分は何をすべきかを進んで発信していく必要があると思った。
- ② 感染症に罹患する園児や保護者、職員も多く、一緒にというより間をあけてかかり長い期間になってしまった。行事に案内できなかつたり訪問できなかつたりと地域とのかかわりをあまり持てなかった。生命の大切さやつながりは媒体や機会をてらえて伝えていった。
- ③ HP やインスタグラムは機会をみてあげるようにした。園だより、育心だより、給食だより保健だより等ものせて広く見てもらえるようにした。子どもの情報公開はしないとされているところの子どもは出す前に確認して気をつけて行った。
- ④ 子ども達の状況は関係機関との連携は出来る限り行い、処遇会議をしたり療育や子育て支援の方々、教育委員会とも電話や対面で情報交換をして共通理解に努めた。
- ⑤ パソコンや保育材料の使い方、物を大切にする事等保育環境の見直しを少しずつ行っている。保育書類等まわりの情報を得ながら行い、負担軽減を考えながら継続的に行っている。

4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画

- 1 担当をリーダーとし声を出し合いながら皆で考え話し合い確認をし共通理解をして、次に進むようにしていく。子ども達が遊びを通して自ら考え伝え行動する機会を増やす。
- 2 地域の方との関わり方を考え、子どもたちが生命の大切さを感じ、自分を大切に、相手も大切にできる心を培う。
- 3 学ぶ心を忘れずに研修を通して学んだこと感じたことを皆で共有し保育や教育に生かす。
- 4 子ども達の育ちの経過をお互いに話し合いながら子どもの特徴をつかんで対応できるようにしていく。担当を中心に情報を共有し皆で育む。
- 5 パソコンや保育材料、物を大切にする事等も含め保育環境の見直しを継続し、整えていく。